

平成28年度全国学力・学習状況調査の結果の分析及び活用について

学校名	伊勢原市立大山小学校
-----	------------

1 調査結果の分析及び考察

	特長	課題
A問題	<p>【国語】漢字の読み書きやローマ字などの正答率が高く、基礎的・基本的な力が身に付いている。文字を書く際の注意点などに関する問題や目的に応じて図と表を関連づけて読み取る問題もよくできていた。</p> <p>【算数】繰り下がりのある減法や末尾の位のそろっていない小数の加法、小数の除法などがよくでき、基本的な計算の能力が定着している。乗数が整数である場合の分数の乗法の計算をして、約分する問題もよくできた。</p>	<p>【国語】登場人物の人物像について、複数の叙述を基にして捉える問題の正答率が低かった。</p> <p>【算数】割合が百分率で表された場面で、基準量、比較量、割合の関係を捉える問題では、示された場面を適切に読み取り、場面を式に表す力に課題が見られた。増量や値引きなど様々な場で割合が用いられており、日常生活の問題を数学的に解決できる力は、生活の質を高めることにつながるので、ぜひ身に付けさせたい。</p>
B問題	<p>【国語】目的や意図に応じて、表やグラフを基に自分の考えを書くことができていた。文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらかんたりに、文章を比べて読んだりする問題の正答率が高かった。</p> <p>【算数】日常生活の問題解決のために、乗法や除法の式、図形の性質を用いて判断することができるかどうかを問う問題は、比較的正確率が高かった。条件を基に同じきまりが成り立つかを調べる問題もよくできた。</p>	<p>【国語】話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って質問する問題の正答率が低かった。</p> <p>【算数】日常生活の事象を数理的に捉え、場面を適切な式に表したり、式の意味を具体的な事象と関連付けたりすることで問題を解決する力や、算数の問題場面で見出したことを、図形の構成要素に着目して、論理的に考察する力に課題が見られた。</p>
質問紙	<p>全員が、「学校で友達に会うのは楽しいと思う」「学級みんなで協力して何かをやり遂げ、嬉しかった経験がある」「学校で好きな教科がある」と答え、大方の児童が、家族にもその様子を話していると回答しており、調査結果から学校生活が充実している様子がうかがえた。国語や算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと考えており、日頃の授業態度の良さやリンクしていた。</p>	<p>朝食をときどき食べていない児童がいた。毎日同じくらの時刻に寝ていない児童が半数おり、午後10時以降に寝る児童が大方を占めている。携帯電話やスマートフォンを持っている児童の中に、通話やメール・インターネット・ゲームを長時間しているなど、生活習慣に課題が見られた。自分には良いところがあると、自信を持って答えられない児童が若干いた。</p>

2① 授業の充実に向けた重点的な取組

<p>【国語】日頃から朝の会などでスピーチをする場は設けられているが、自分の考えと比べながら、共通点や相違点、関連して考えたことなどを整理し、自分の考えをまとめて質問するという技能は、十分身に付いているとは言えない。聞き方のポイントを意識させながら聞く機会を繰り返し設け、考えたことをまとめることができるように指導する。さらに具体的な事例をあげて相手に伝わるように書くことができるように、伝えたいことに結びつくような事例をあげて書くことの大切さを指導する。</p> <p>【算数】基礎・基本をより丁寧に指導する。式の意味や数値の意味を解釈し、合理的に判断できる力を身に付けるために、立式するだけでなく、その式の数値はどこから導き出されたものであるのか、その数値に対してどのような演算を行っているのかを考える場面を設けるなど、きめ細やかに指導する。言葉や図、表、グラフなどを用いて、筋道を立てて説明したり論理的に考えたりして、自ら納得したり他者を説得したりできるような力を伸ばしていく。</p>
--

2② 家庭(地域)への発信内容(協力依頼事項) ※家庭で取り組んでほしい内容や地域の方に知っておいてほしい内容

<p>大山小学校では、地域に根ざしたグローバル人材の育成を達成するため、英語教育の充実、ふるさとの自然体験・伝統文化の学習、ICT機器の利活用など様々な取組をしています。これからも小規模校の良さを活かして、一人ひとりの課題やニーズに応えられるように、きめ細やかな指導を心がけ、授業の充実に向けて、積極的に取り組んでいきます。</p> <p>今回の調査では、就寝時間やメール・インターネット・ゲームの利用時間に課題が見られました。生活習慣を見直し、児童が学習に集中できる環境を整えていきましょう。自分に自信が持てず、自尊心が低かった児童が、予習・復習に励むなど、努力している姿が結果に表れていました。「継続は力なり」ですので、目先の結果にとらわれずに努力を続けて欲しいです。学校でも、一人ひとりが自信を持って輝ける場を積極的に作り、自尊心が高まるように指導していきます。</p>
--